

# 岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第12号

## 第12号発刊によせて

関西支部 支部長 岡田 敏嗣

関西支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃から当支部の諸活動や行事にご協力とご支援を頂き、心より御礼申し上げます。関西支部 会報 第12号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染が、国内で昨年1月中旬に発症して以来「緊急事態宣言」の発令をはじめとして、会合・イベント等や不急不要の外出の自粛、3密の回避等、感染防止策が強く要請されたこともあり、会員皆様の健康と安全を最優先させていただき、昨年6月21日に開催を予定していました「第12回 定期総会」を「中止」とさせて頂きました。開催されていれば、京都大学防災研究所 教授 森 信人先生に「気候変動の我が国の自然災害への影響」のご講演をお願いしておりましたが、残念ながら実施できませんでした。森先生は、我々の母校である岐阜大学 土木工学科を1991年に卒業され、同大学院において修士・博士後期課程を修了されました。森先生のご専門は、海岸工学・気候変動影響評価であります。大型台風等の災害発生時には、NHKニュース等におきまして、たびたび解説される等、大変著名な方です。今回の「第13回 定期総会」で再度ご講演をお願いしておりますので、総会の開催ができるようになれば、大型台風の度重なる襲来の要因等について詳しくお聞きできる貴重な機会になるのではないかと思いますので、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。



今回のコロナ禍で支部活動の要である役員会が開催できないことから活動を長期に亘り停止せざるを得なくなりましたが、社会一般でも大いに活用されていますインターネットによるメールとリモート(Zoom)会議を実施することにいたしました。これによって、会報「第11号」の発行と「第12号」の作成、ホームページの更新をはじめ、来年度の「第13回 定期総会」の概要の取りまとめ等、曲がりなりにも活動することができました。今回のコロナ禍の影響で図らずも得られた Zoom 会議の手法を今後は積極的に活用することによって、役員交通費や会議場への出向く時間が節減出来る等、支部効率化推進に大いに寄与できるものと期待しています。

関西支部の最大の課題は、支部会員の減少です。12年前の設立時は135名で発足し、順調に増加して5年前に156名となってピークとなり、その後、減少に転じ現在は146名となっています。この傾向は、他支部においても同じ現象が起きていることから、4支部の存在のPRを昨年度と同様に本部会報に掲載していただいています。特に、これから支部で中心となって活躍・活動していただく若い会員の入会を積極的に進める必要があります。今後、本部の常任理事会において、卒業して数年経過した方にも参画してもらい、活動に対する意見や考え方を聞く機会があります。ここで得られた意見等を支部活動に生かして若い会員の増加に繋げていきたいと考えています。

昨年4月より、「国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学」として新たにスタートしています。「国際的な競争力向上と地域創生への貢献を両輪とした発展」を掲げて「航空宇宙融合教育研究拠点」など4項目の整備を目指す拠点作りを始められており、今後の成果・展開等が大いに楽しみです。

最後に、これまでの会員の皆様方のご協力ご支援に対して改めて感謝いたしますと共に、コロナ禍がワクチン接種の普及によって終息し、一日も早く元の正常な社会を取り戻し、本来の支部活動が出来ることを切に待ち望んでいます。

## ◇総務委員会◇

総務委員長 大森 和男

### 1. 「第12回 定期総会」開催中止

昨年6月21日に開催を予定でした「第12回 定期総会」は、4月中旬に会員の皆様に葉書でご案内いたしました通りコロナ禍により「中止」いたしました。

### 2. 役員会の開催及び取りまとめ

コロナ禍により「役員会」の中止が長期化しましたので、インターネットを活用したメールによる意見交換・確認等（メール会議）とオンライン会議（Zoom会議）を実施いたしました。

#### 1) メール会議（3回）の実施状況について

- (1) 2020年6月4日～9日：2019年度 会計監査報告が完了しましたので、会報第11号(2019年度 事業報告兼務)、2019年度 会計報告・特別会計報告及び会計監査報告、2020年度 事業計画(案)、同予算(案)について内容確認を行い、承認されましたので全会員へ報告・送付いたしました。
- (2) 2020年7月7日～13日：岐阜大学基金(特定事業:新型コロナウイルス感染症緊急学生支援事業)へ寄附の件について協議しました結果、賛成多数により「寄附する」ことに決定し、関西支部として5万円を寄附いたしました。
- (3) 2020年12月5日～8日：①第2回常任理事会(12/5)Zoom会議報告、②中間会計報告、③来年度の「第13回 定期総会」の講演者は、「第12回 定期総会」講演者の森 信人氏に決定いたしました。  
④会報 第12号発行の件は、4月発行で2月末までに原稿を纏めることに決まりました。

#### 2) Zoom会議（3回）の実施状況について

- (1) 2021年12月23日(土)：主に①「本部からの支部援助費が「減額」及び「無し」の場合の今後の収支予測、②「第13回 定期総会」の概要、③会報「第12号」作成計画等を確認いたしました。



### Zoom会議の実施状況

- (2) 2021年3月13日(土)：①後記3(4)臨時常任理事会の報告を行い、支部にとって重大事項である本部からの支部援助費が今後3年程度で暫減し以後無しの件は、今後も4支部が連携し本部と協議継続とします。②会報「第12号」は4月中旬完成目標です。③「第13回 定期総会」は、会場を茨木市福祉文化会館(オークシアター)で総会・講演会のみとし、懇親会は中止といたしました。なお、コロナの再拡大等で開催が危ぶまれる場合は、Zoomによる開催といたします。
- (3) 2021年3月27日(土)：①HP更新委託契約は、契約形式の変更と値下げを了承しました。②「第13回 定期総会」をZoom開催とするか否かの決定を4月17日(土)のZoom役員会で決定することにした。

### 3. 本部「理事会」「常任理事会」への参加状況

- (1) 理事会：2020年6月28日メール会議に支部長・事務局長が参加
- (2) 第1回常任理事会：2020年10月3日メール会議に支部長・事務局長が参加
- (3) 第2回常任理事会：2020年12月5日オンライン(Zoom)会議に支部長・事務局長が参加
- (4) 臨時常任理事会：2021年2月27日オンライン(Zoom)会議に支部長・事務局長が参加

・常任理事会構成員の見直しは、新たに学外理事(5名程度)が常任理事として参画して貰うと共に、卒業後数年の若手にもオブザーバとして常任理事会に参画して貰い、組織の活動に対して新たな視点で意見・考え等を提言していただく。

・支部援助費の見直しは、今後3年程度で暫減し以後無しとなる等財政が極めて厳しくなります。

### 4. 新規会員の入会促進策の実施 及び 5. イノベーションプロジェクト活動 は中断しています。

#### ◇会報編集委員会◇

会報編集委員長 菅村 浩

会報「第11号」の発行は、コロナ禍によりメール会議のみによる確認作業となりましたが、「定期総会」を中止したこともあり、発行時期を従来の4月より6月に変更して2019年度 事業報告の報告も兼ねて発行しました。また、ホームページのメンテナンスと更新を6～7月にかけて行いました。

#### ◇名簿管理委員会◇

名簿管理委員長 米元 孝博

- ・会員名簿作成(令和3年3月31日)
- ・会員の動静(令和3年3月31日)

会員数(令和2年6月1日)	増員	減員	現在の会員数(令和2年3月31日現在)	増減
146名	1	1	146名	±0名

#### ◇行事委員会◇

行事委員長 塚口 義清

コロナ禍の影響により、「見学会」「交流会ゴルフコンペ」を中止しています。

### ★「第13回 定期総会」の開催について

- 日時／6月20日(日) PM2時～4時予定(詳細は、「定期総会案内状」をご覧ください)
- 会場／茨木市福祉文化会館(オークシアター)3階302号室：茨木市駅前4-7-56  
コロナの感染状況次第で、「Zoom形式」に変更する場合がありますので、ご注意ください。
- 講演／京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門 沿岸災害研究分野 教授 森 信人氏

演題 『気候変動の我が国の自然災害への影響』

講演者「森 信人氏」のご紹介

1991年3月に岐阜大学工学部土木工学科卒業され、以後、岐阜大学大学院において修士・博士課程を修了されました。

その間、日本学術振興会 特別研究員(DC1)にも採用される等、将来を嘱望されました。その後、(財)電力中央研究所 流体科学部 主任研究員、大阪市立大学 大学院工学研究科都市系

専攻 講師を歴任されて、2008年4月から京都大学 防災研究所大気・水研究グループ 沿岸災害研究分野 准教授に就任され、2018年12月には教授になられています。

現在は、文部科学省技術参与を兼任されている他、英国Swansea大学Honorary Professorにもなられる等、国内はもとより国際的にも著名な方です。

国内で大型台風等の甚大災害が発生した時には、NHKニュースにおいて、しばしば解説等をされています他、昨年の元旦に放映されましたNHKスペシャル「10 Years After 未来への分岐点」においては気候変動による東京沿岸の脆弱性について解説されました。

今回のご講演の機会に関西支部にご入会いただきました。



## 「森 信人氏」の主な受賞歴

- ・ Highest Impact Article Award of Hydrological Research Letters(2015年)
- ・ Coastal Engineering Journal Citation Award(2015年)
- ・ 土木学会 海岸工学論文賞(2018年)共著者 2 回目・3 回目
- ・ 海の日海事功労者・近畿地方整備局長表彰(2019年)

## ■ 役 員 紹 介 ■

### ◆会計監査 村瀬 成一 (1971年 精密工学科 卒)

#### <仕事>

修士2年の時に指導教官の熊本大学転任に伴い、岐阜大学転入学、熊本大学転入学となり、修士2年は熊本大学で過ごしました。最終学歴は、熊本大学大学院工学研究科生産機械工学修了となっています。結構多忙な毎日でしたが1年間の熊本でのよき思い出が残っています。

1973(S48)年4月に三菱電機㈱に入社し、伊丹製作所に配属され鉄道車両の振動問題と電力機器の耐震設計技術に関わりました。

鉄道車両関係では、スペインでの電気機関車の走行試験やリニア鉄道車両の振動応答シミュレーション、電力機器の耐震設計関係では機器設計支援や評価の業務に従事するとともに国内電力会社の支援（東北地方太平洋沖地震、新潟中越地震、兵庫県南部地震、熊本地震など）を行い地震被害の実態調査・研究、国内外の電力機器の耐震設計用基準の制定・改定作業など多くの耐震設計技術に関わりました。

2019(R1)年3月に46年間の会社生活を終えましたが、電力機器の耐震設計術活動が認められ退職後の11月に日本電気協会から電気保安功労者「第64回澁澤賞」、翌年8月に「経済産業大臣賞」を受賞しました。

現在は、熊本にある書架メーカーの技術顧問として耐震設計技術の支援を行っています。

#### <趣味等>

健康維持のためウォーキングを続け、月に2,3回平均10~15km歩いていましたがコロナ禍のため中止しています。関西の私鉄沿線をめぐる機会が多く行った先の神社やお寺の御朱印を集めることも楽しみにしています。退職前後に3カ月で西国33か所巡りを達成しました。魚釣りも好きで淡路島によく出かけます。大学時代のESSクラブの同期メンバーと年2,3回集まり懇親を深めています。

### <名簿管理委員会から会員の皆様へのごお願い>

会員の皆様から頂きました“入会申込書”等の個人情報、「会員皆様への情報発信」と「会員相互の交流・連絡等」を図る重要なツールであります。これら支部活動を迅速・円滑に進めるためにも絶えず最新の情報として整理しておく必要があります。

そのため、住所、電話番号、メールアドレス等、お届け頂いている会員皆様の情報に変更が生じた場合や、メールアドレスを新規に取得された場合には、お手数ですが直ちに事務局までご連絡をお願いいたします。今後とも会員の情報管理には万全を期し、支部活動にのみに活用させていただきますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

#### 入会情報やあらゆる情報のご連絡、お問い合わせ先

岐阜大学工業倶楽部 関西支部 事務局長 大森 和男  
〒550-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号

中井産業ビル4F 株式会社 光栄内

Tel : 090-3996-3306 Fax : 072-738-3369

E-mail : nrh53171@nifty.com

ホームページ : <http://gifudai-kansai.g.dgdg.jp/>

岐阜大学工業倶楽部 関西支部

発行人 支部長 岡田 敏嗣

編集人 会報編集委員会

委員長 菅村 浩

担当 湊 紀夫 井上 和夫 平井 佳紀

坂口 満明

